

CARMATE

RV  
INNO

RV-INNO

IN 420

ボートアタッチメントPRO

取扱説明書

IN 421

ボートローラーPRO

## はじめに

このたびは、カーメイト RV-INNO ボートアタッチメントをお買い上げいただきましてありがとうございます。本品は車両のルーフにボートを積載するためのRV-INNOシステムキャリア用アタッチメントです。この取扱説明書にはボートアタッチメントPRO ボートローラーPROの取付・使用方法が記載されています。

この取扱説明書をよく読んで理解してから本品を使用し、記載事項全てを必ず守ってください。  
この取扱説明書は、必要なときにいつでも読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡しください。また、本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

## 目次

はじめに.....	1	フロントラチェット / フロントフック / クッションを取付ける.....	11
安全にお使いいただくために.....	2	ベルトで固定する.....	11
本書に記載する記号について.....	2	走行する.....	14
必ず守ってください.....	2	キャリアから降ろす.....	14
部品内容を確認する.....	7	積載しないときの使用方法.....	15
使用工具を準備する.....	7	純正補修パーツのご案内.....	16
取付方法.....	8	お問合せ先.....	16
ステー・バーを車両に取付ける.....	8		
ボートの最大幅を測定する.....	8		
ローラーセットを取付ける.....	8		
フロントラチェット / フロントフック / クッションを仮止めする.....	9		
使用方法.....	9		
積載する.....	9		
積載準備.....	10		
キャリアに載せる.....	10		

# 安全にお使いいただくために

## 本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次のとおりです。

**警告** 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

**注意** 注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。

**参考** 本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。

## 必ず守ってください

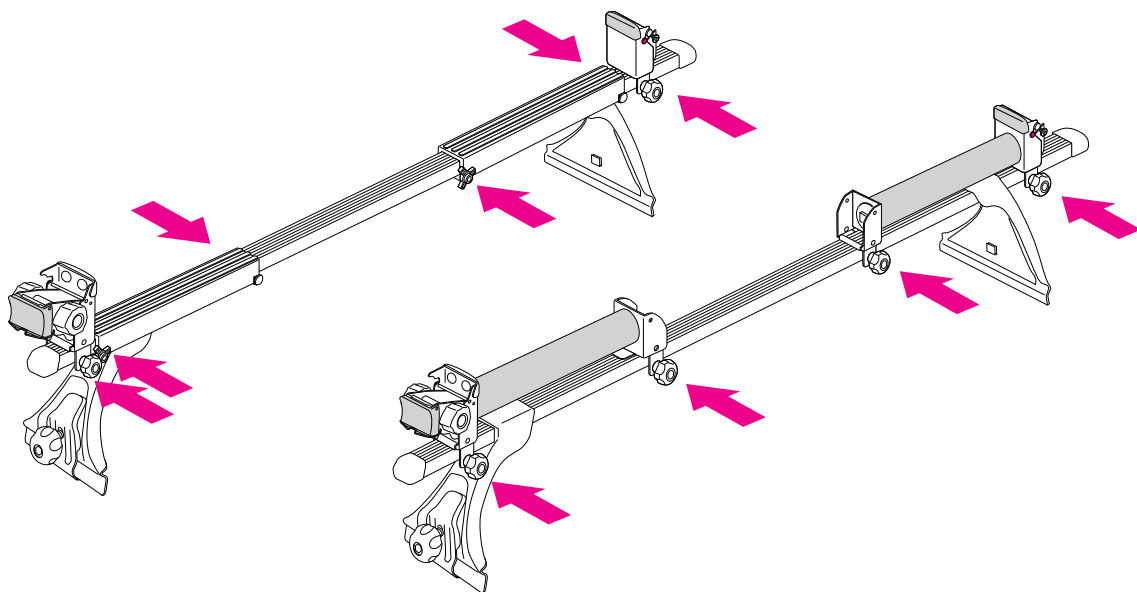
本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことから必ず守ってください。

### 警告

#### 取付上および使用上の警告

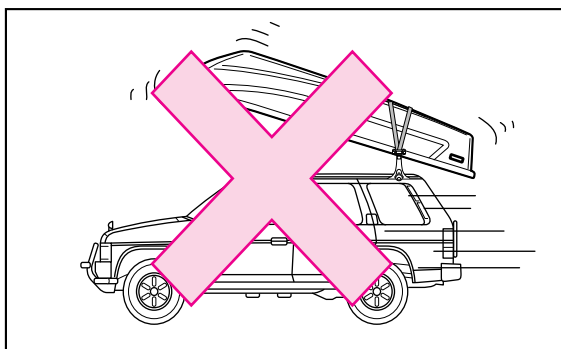
走行前に必ず前後合わせて **10ヶ所**( IN421は 4ヶ所 )のノブを点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

ノブにユルミがあると、走行時の風圧・振動によりポートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



## 警告

### 取付上の警告



IN42ボートローラー PROは単品では、使用しないでください。

IN42ボートローラー PROはベーシックキャリアを前後2本取付けた上で、下記の3通りのいずれかの方法でその条件を満たした上でご使用ください。

**1. 前側キャリアに取付けて使用する。**

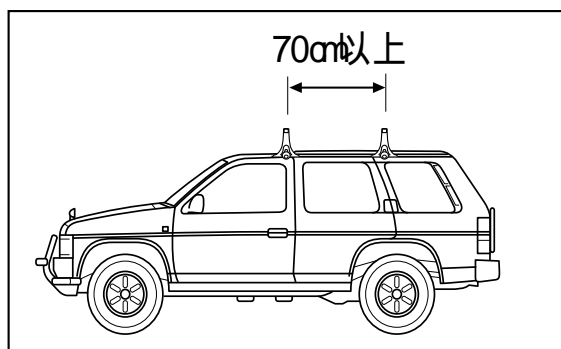
条件：後側キャリアにボートを固定する別の製品  
( IN-40.43.410.412.413.415.416.420)が必要です。

**2. 後側キャリアに取付けて使用する。**

条件：前側キャリアにボートを固定する別の製品  
( IN-40.43.410.412.413.415.416.420)が必要です。

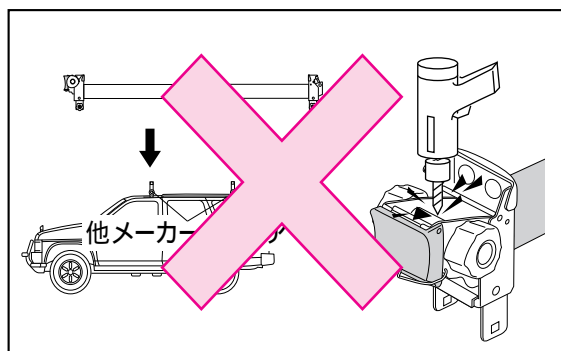
**3. 前後のキャリアに取付けて使用する。**

条件：IN42が2セット必要です。



バーの前後間隔は、70cm以上とってください。

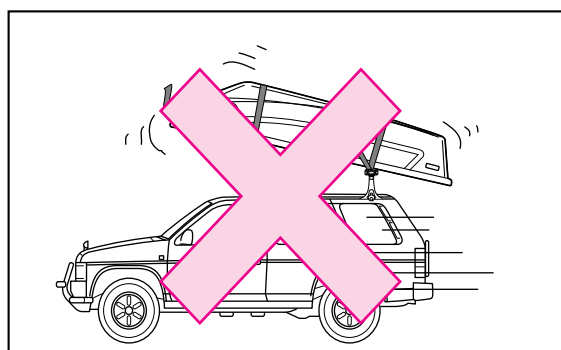
バーの前後間隔が狭い状態で取付けるとキャリアに無理な力がかかることによりキャリアやボートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



他メーカーのキャリアへの取付けや、本品を改造してのご使用はおやめください。

他メーカーのキャリアへの取付けや、改造して使用すると、確実な固定ができず、キャリアやボートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

### 使用上の警告

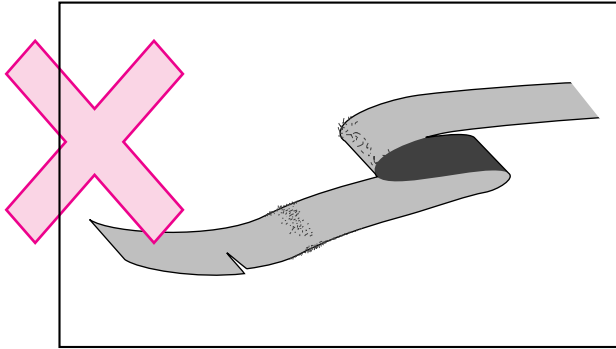


走行前に必ず前後のベルトの張り具合を点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

ベルトにユルミがあると、走行時の風圧によりボートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

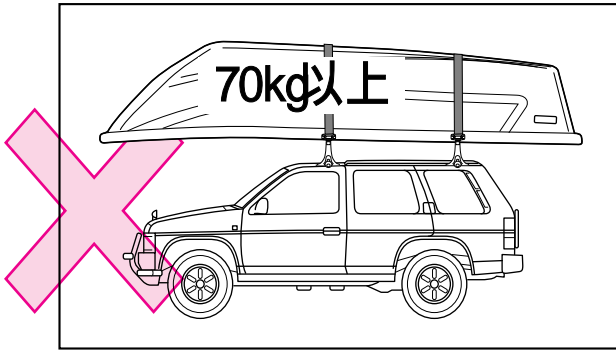
## 警告

### 使用上の警告



ベルトは消耗品です。ご使用ごとに必ずベルトの表・裏を点検し、以下の現象が見られたらただちにご使用をやめ、新品「IN-411（ポートアタッチメント用ベルト）」と交換してください。

1. ベルトの表面がケバ立ってきたとき。
  2. ベルトに損傷があるとき。
  3. ベルトの一部もしくは、ある区間の色が薄く変わったとき。
  4. 縫い糸にほつれや切れがあるとき。
  5. 熱や化学薬品による損傷が見られたとき。
- 走行時にベルトが切断すると、ポートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



最大積載量 70kgを超えた積載はしないでください。また車両により最大積載量が異なります。車種別適合表で確認の上、最大積載量を算出し、70kgを超えない範囲で積載してください。

最大積載量を超えた積載をすると、車両やキャリアに無理な力がかかることにより、キャリアやポートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

### 最大積載量の算出方法

最大積載量  
(70kgを超えない範囲)

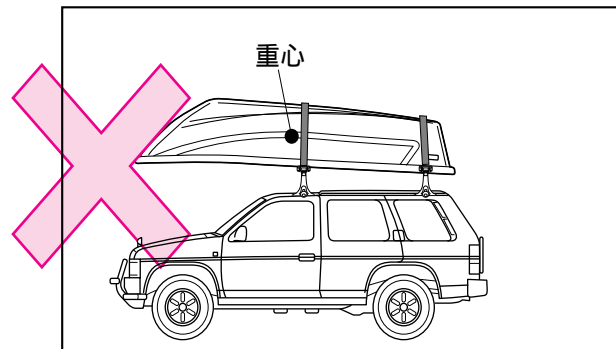
=

車種ごとの  
最大積載量

-

IN-420の重量(7.3kg)  
IN-421の重量(5kg)

RV-INC車種別適合表で確認

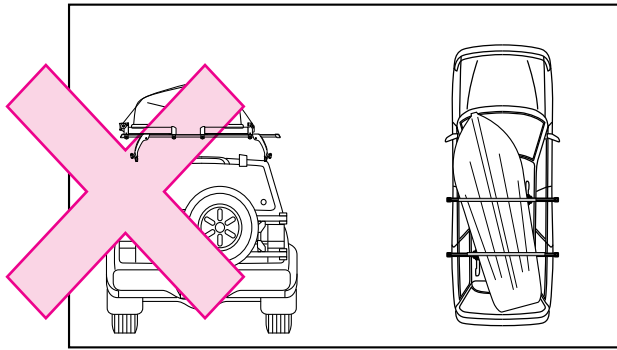


ポートの重心ができるだけキャリアの前後の中心にくるように積載してください。

ポートの重心が、バーの中心から大きく外れた状態で積載するとアタッチメントに無理な力がかかることによりキャリアやポートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

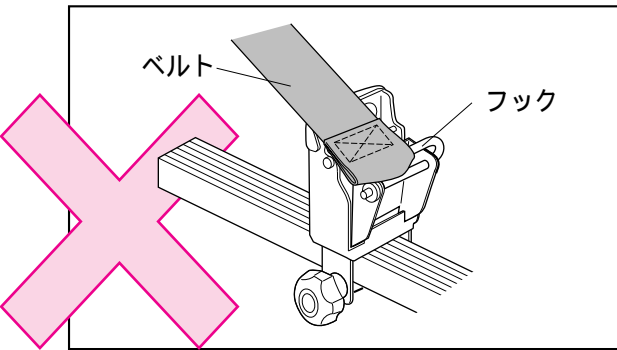
**警告**

**使用上の警告**



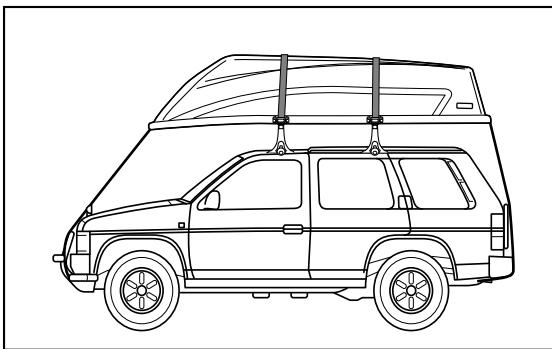
ボートはできるだけ車両の中心線上をまっすぐに積載してください。

ボートを、車両の中心線に対して大きく曲がったり、左右どちらかに偏った状態で積載すると、走行時の風圧・振動によりキャリアやボートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



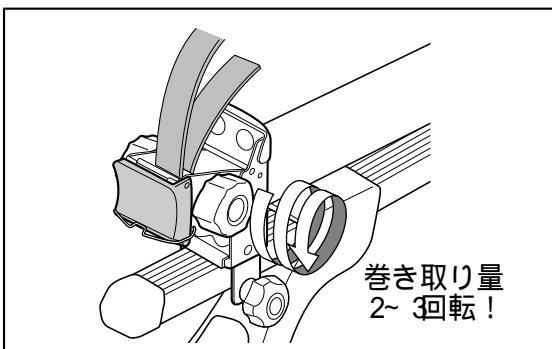
ベルトはフックに確実にかけてください。

フックの端にベルトを掛けて固定すると、走行時の風圧・振動によりボートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



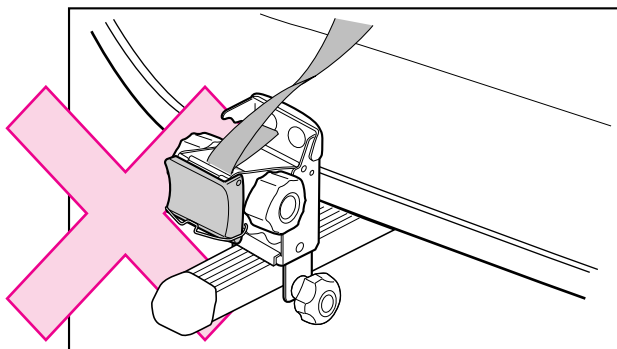
ボートの長さがバーの前後間隔の3倍以上となる場合や、高速走行時はボートの前後を別売のベルトやロープでけん引フックなどに固定してください。

ボートの長さがバーの前後間隔の3倍以上となる場合や、高速走行時はキャリアに無理な力がかかることによりキャリアやボートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



ベルトの巻き取り量は、2~3回転にしてください。

ベルトの巻き取り量が少な過ぎたり、多過ぎたりすると、固定力が不足し、走行時の風圧・振動によりボートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

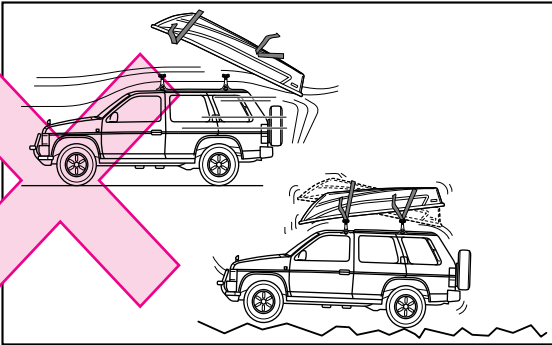


ベルトのねじれがない状態で積載してください。

ベルトがねじれた状態で積載すると、固定力が不足し、走行時の風圧・振動によりボートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

## 警告

### 使用上の警告

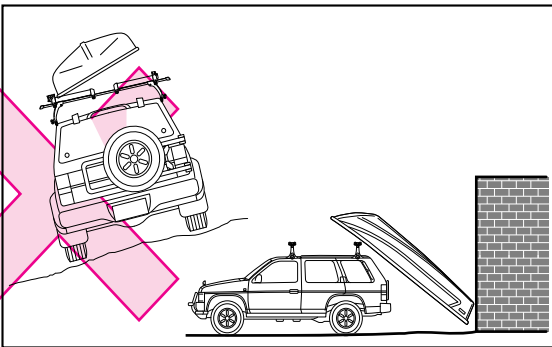


法定速度を守り、強風時や悪路では特に速度を落として走行してください。

法定速度を超えた連続高速走行や強風時の連続走行、悪路走行をすると、ノブやベルトのユルミによりキャリアやボートが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

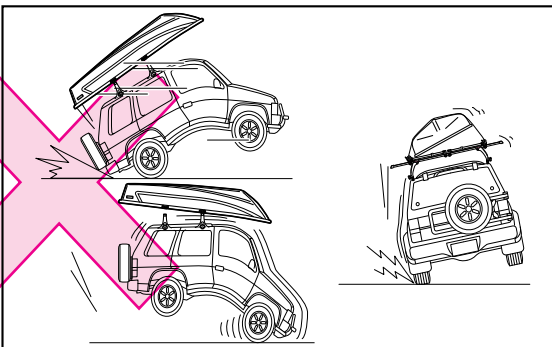
## 注意

### 使用上の注意



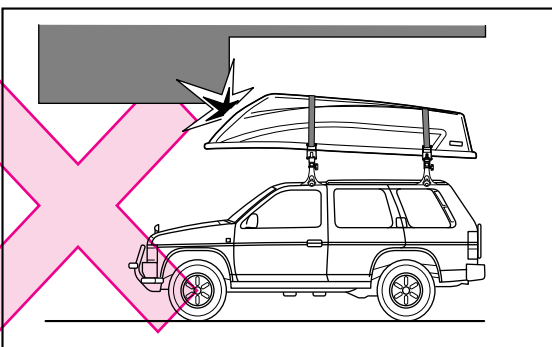
ボートの積み降ろし作業は、平らな広い場所で行ってください。

ボートは大きく重いいため、不安定な場所で積み降ろしを行うと思わぬケガをするおそれがあります。



急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアとボートの取付状態を確認してください。

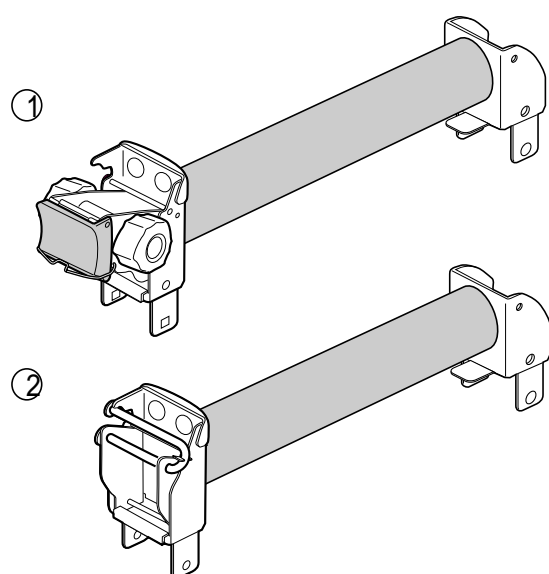
積載時に、急発進、急ハンドル、急ブレーキをすると、キャリアの取付位置がずれて車両やキャリアが損傷するおそれがあります。



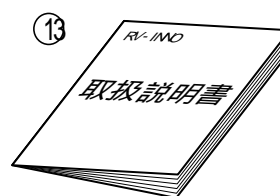
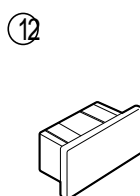
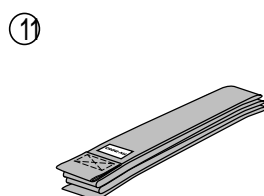
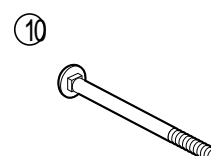
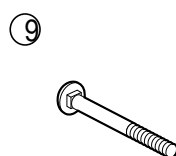
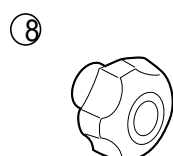
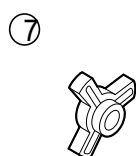
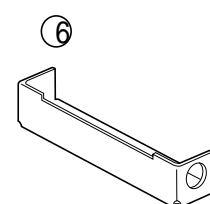
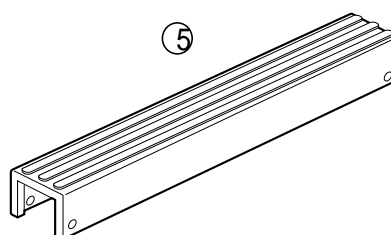
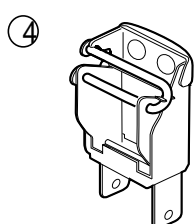
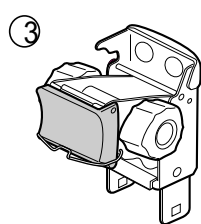
走行中は車両の上方向、前後方向の障害物には十分注意してください。誤ってボートをぶつけた場合は必ずキャリアとボートの取付状態を確認してください。

## 部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。  
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。



No.	部品	数量	
		IN420	IN421
①	ローラーセット(ラチェット側)	1	1
②	ローラーセット(フック側)	1	1
③	フロントラチェット	1	-
④	フロントフック	1	-
⑤	クッション	2	-
⑥	クッション固定金具	4	-
⑦	ノブ(小)	4	-
⑧	ノブ(大)	6	4
⑨	角根ボルト(短)(6×55)	6	4
⑩	角根ボルト(長)(6×70)	4	-
⑪	ベルト	2	1
⑫	バーカバー	4	2
⑬	取扱説明書	1	1



## 使用工具を準備する

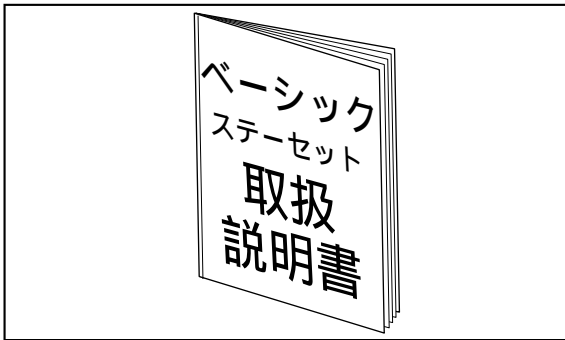
本品の取付けには、次の工具が必要ですので、準備してください。

使用工具	数量	用途
巻尺(2m)	1	ボートの幅の計測

# 取付方法

準備  
1

## ステー・バーを車両に取付ける



1 ステー・バーをベーシック・ステアセットの取扱説明書に従って正しく取付ける。

**警告**

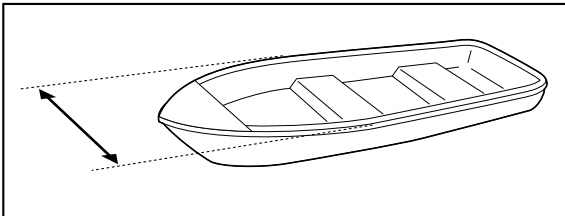
バーの前後間隔は、必ず 70cm以上とってください。

**参考**

後側バーはできるだけ後ろに取付けるとボートを積載しやすくなります。

準備  
2

## ボートの最大幅を測定する

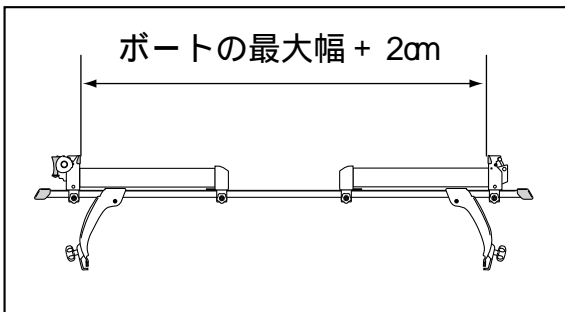


1 ボートの最大幅を巻尺で測定する。

取付  
1

## ローラーセットを取付ける

IN420はローラーセットを後側バーに取付ける。



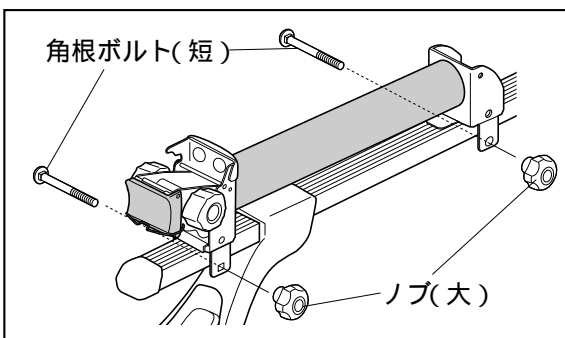
1 ボートの最大幅 + 2mの位置にローラーセットを載せる。

**警告**

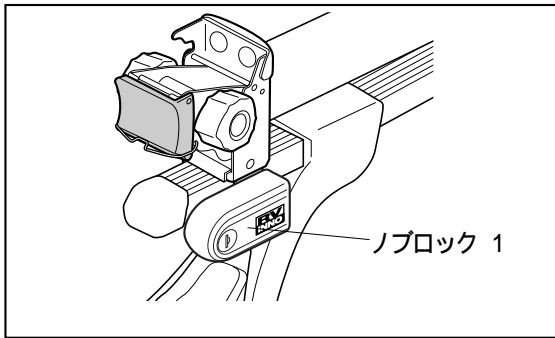
ローラーの取付金具部がステーと干渉して載せられない場合は、ステーをまたいで取付けてください。その際、ボートの最大幅 + 2mを超えてしまう場合は、必ずボートの前後を別売のベルトやロープでけん引フックなどで固定してください。

**参考**

ローラーの取付金具部がバーのエンドキャップと干渉して載せられない場合は、バーのエンドキャップを本品付属のバーカバーに付け換えてください。



2 ローラーセットを角根ボルト(短)と、ノブ(大)で固定する。



**参考**

別売のノブロック 1 (IN-580)を使うと、アタッチメント本体のキーロックができます。

ローラーセット(ラチェット側)、ローラーセット(フック側)、フロントラチェット、フロントフック全てをロックさせるためにはノブロック 1 が 4 つ必要です。

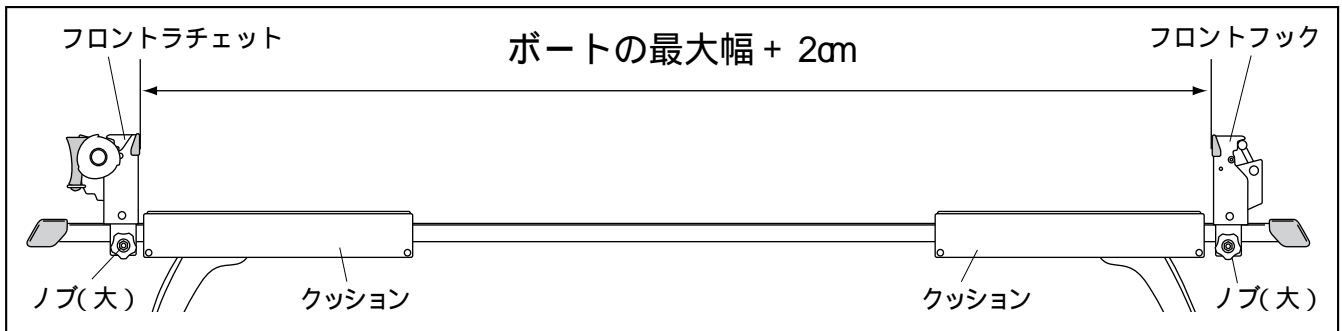
**取付**  
**2**

**フロントラチェット / フロントフック / クッションを仮止めする**

IN42ボートローラーFRQには、この作業はありません。

IN42Qはフロントラチェット / フロントフック / クッションを前側バーに取付ける。

使用方法の **フロントラチェット / フロントフック / クッションを取付ける** で取付位置の調整・固定をしますのでここでは仮止めをしてください。

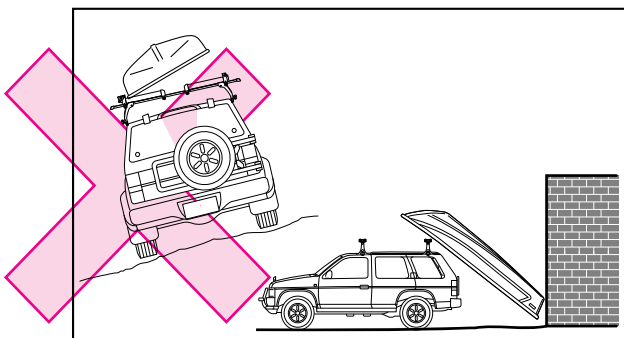


**1** ボートの最大幅 + 2cmの位置にフロントラチェット / フロントフックを角根ボルト(短)とノブ(大)で左右対称に仮止めし、その内側にクッションを載せる。

**使用方法**

**使用**  
**1**

**積載する**



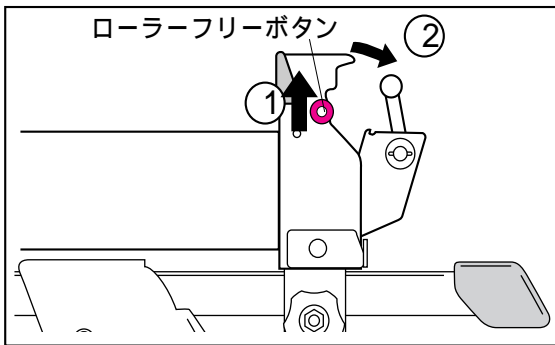
**注意**

ボートの積み降ろし作業は、平らな広い場所で行ってください。

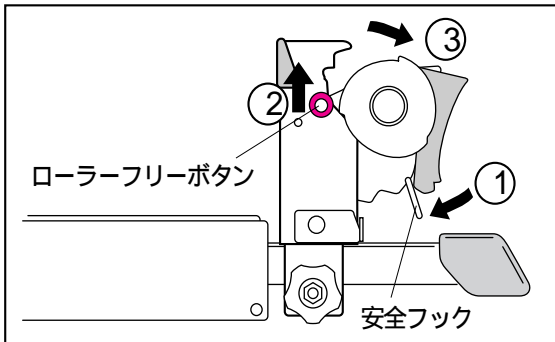
**参考**

車両の後方に、ボート 艇分のスペースがあることを確認してから作業を開始してください。

## 積載準備

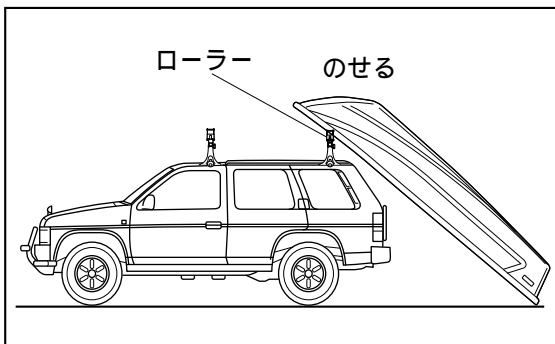


- 1 ①フック部のローラーフリーボタン(赤色)を上押し、②フック部を手前に倒す。  
 (ローラーセット側とフロントフック側の前後とも行なう。)

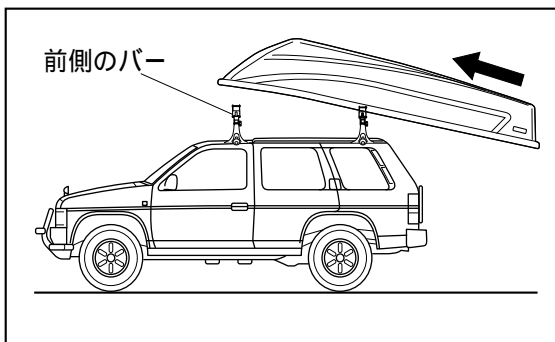


- 2 ①ラチェット部の安全フックを外し、②ローラーフリーボタン(赤色)を上押し、③ラチェット部を手前に倒す。  
 ・安全フックはローラーセット側とフロントラチェット側の前後とも外す。  
 ・ラチェット部を倒すのはローラーセット側のみで構いません。

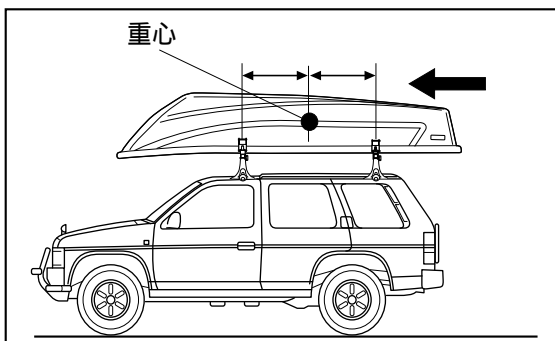
## キャリアに載せる



- 1 ボートを伏せて、先端を前にしてローラーに載せる。



- 2 ボートの先端をやや上向きにしたまま、先端が前側バーに届くまで押して移動させる。



- 3 ボートの先端を前側バーに降ろし、そのままボートの重心が前後バーの中心近くになるところまで押し、車両の中心にまっすぐになるような位置に調整する。



警告

ボートの重心ができるだけキャリアの前後の中心にくるように積載してください。



警告

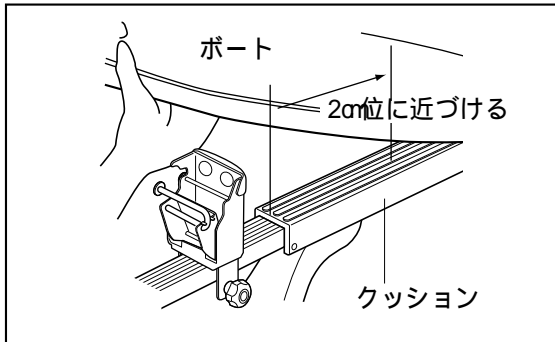
ボートはできるだけ車両の中心線上をまっすぐに積載してください。

使用  
2

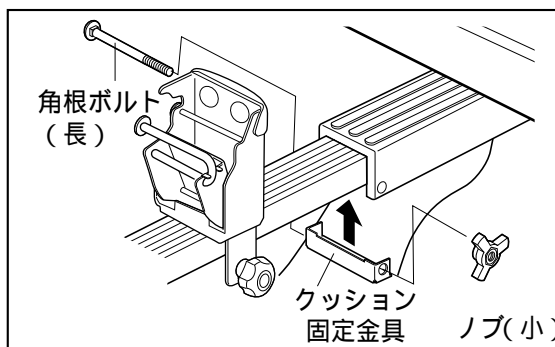
フロントラチェット / フロントフック / クッションを取付ける

IN42ボートローラーPRCには、この作業はありません。

本作業は初回の積載時のみ行います。積載するボートが同一のものであれば、2回目以降は必要ありません。



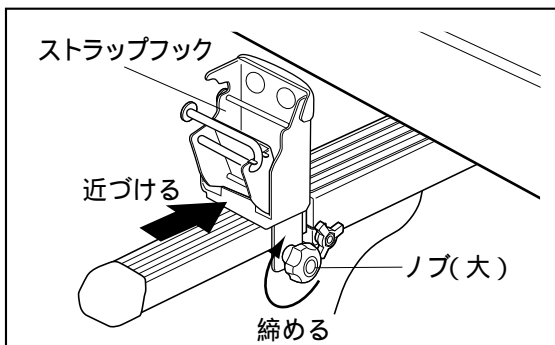
1 ボートの前側のバーに載っている部分を少し持ち上げて、クッションの位置を2cm位に近づける。



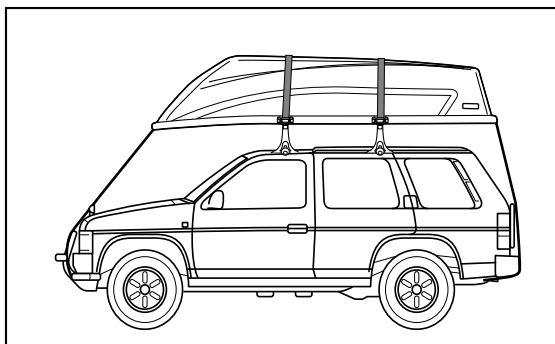
2 クッションにクッション固定金具をはめ、角根ボルト(長)とノブ(小)でバーに固定する。

参考

角根ボルトの位置がステーと干渉する場合は、どちらか片側のみを固定するだけで構いません。



3 クッションの外側に、フロントラチェット / フロントフックをいっぱいまで近づけて仮止めしてあったノブ(大)を締めてバーに固定する。



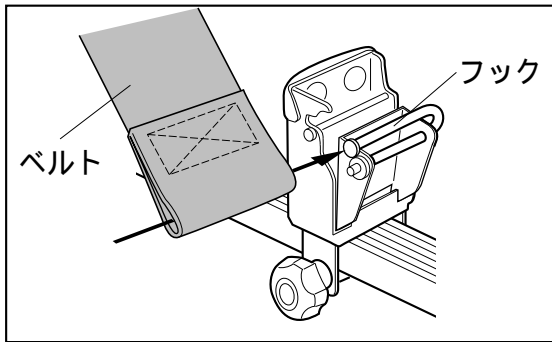
警告

フロントラチェット / フロントフックとクッションが近づけられず、間隔が広がってしまう場合は、必ずボートの前後を別売のベルトやロープでけん引フックなどに固定してください。

使用  
3

ベルトで固定する

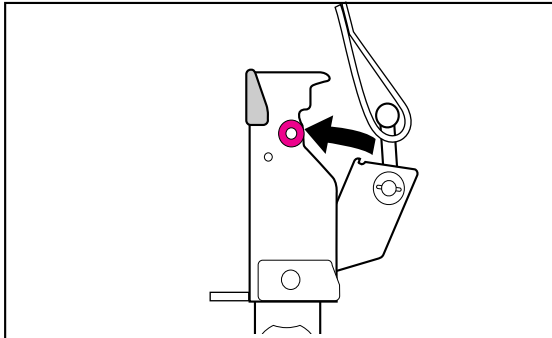
1 ベルトの表・裏面を点検し、異常がないか確認する。異常(P参照)が見られたらご使用をやめ、新品「IN-41(ボートアタッチメント用ベルト)」と交換する。



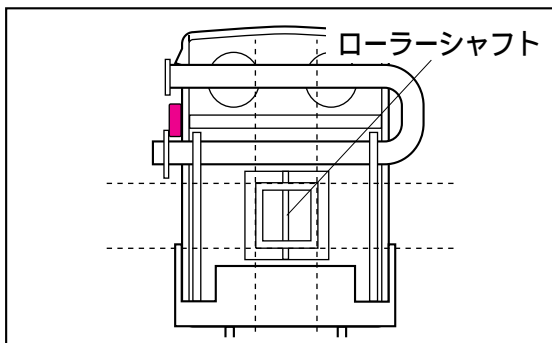
**2** ローラーセット(フック側)とフロントフックについているフックに、ベルトの袋になっている方を通す。



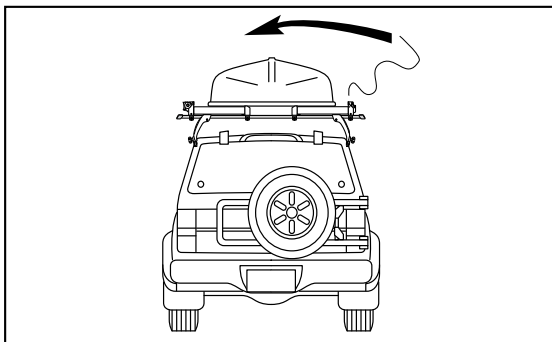
**警告**  
ベルトはフックに確実にかけてください。



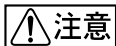
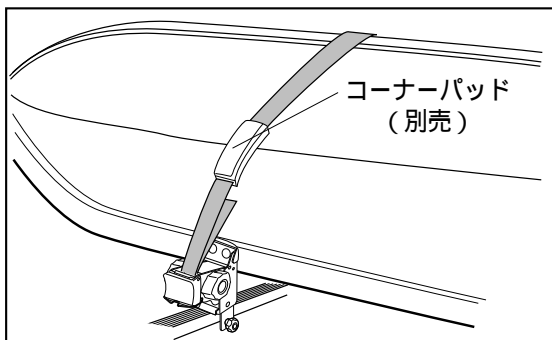
**3** フック部をカチッと固定されるまで起こす。  
確実に固定されていることをフック部をゆすって確認する。



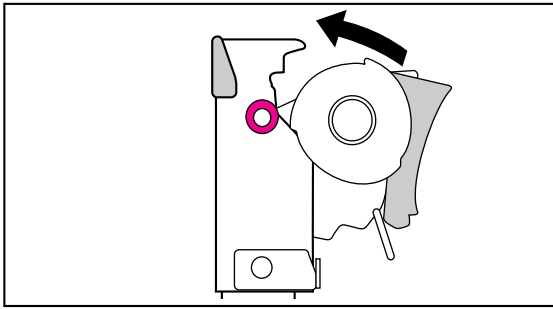
**参考**  
ローラーセット(フック側)のフックがカチッと固定できない場合は、ローラーシャフトの側面が垂直になるようにローラーを回して調整してください。



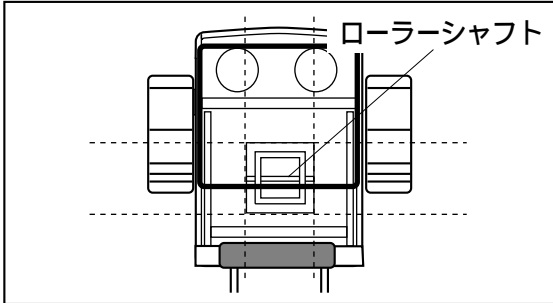
**4** ベルトをポートの上を通るように車の反対側へ投げる。



**注意**  
ベルトがボートの角に当たる場合や、振動によるこすれで積載物を傷つけるおそれのある場所には、布などを当ててください。別売のコーナーパッド(IN-552-3)を使用すると、摩擦や傷つきを軽減できます。

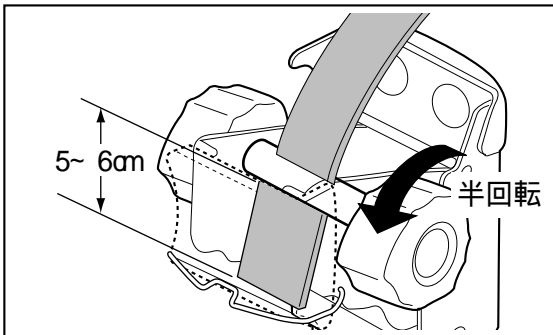


**5** ラチェット部をカチッと固定されるまで起こす。  
確実に固定されていることをラチェット部をゆずって確認する。



**参考**

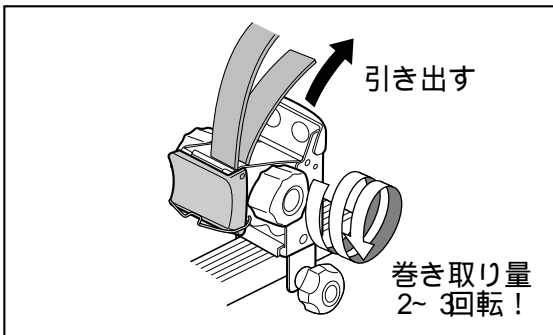
ローラーセット（ラチェット側）のラチェットがカチッと固定できない場合は、ローラーシャフトの側面が垂直になるようにローラーを回して調整してください。



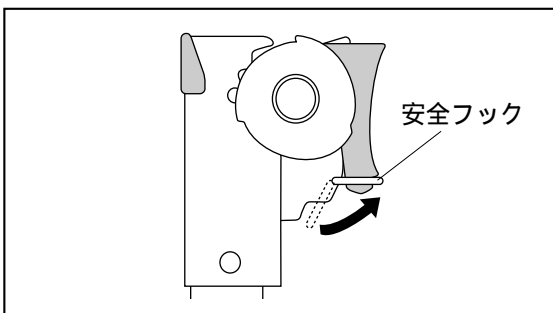
**6** ラチェット側に投げたベルトを巻き取り部のスリットに通す。

**参考**

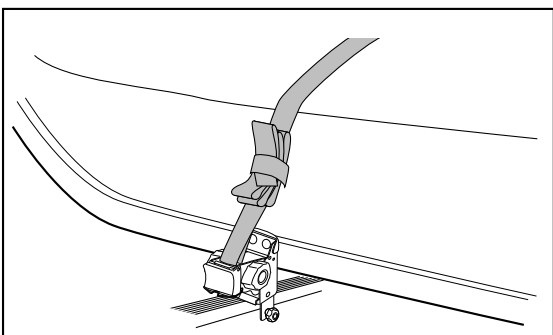
ベルトをスリットに5~6cm差した後、ラチェットノブを半回転位させると、ベルトの先端が上になり、引き出しやすくなります。



**7** ベルトが張らない程度に上に引き出し、ラチェットノブを回し、固くなるまで締め込んでボートを固定する。ベルトの巻き取り量は2~3回転になるようにする。



**8** ラチェット部の安全フックをカチッと音がするまでレバーにはめる。



**9** 余ったベルトはバタつかないように、巻き付けて処理する。

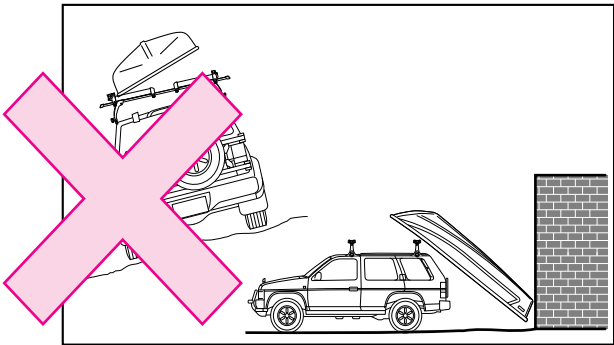
使用  
4

走行する

走行する際は、必ず使用上の警告事項・注意事項を守ってください。

使用  
5

キャリアから降ろす

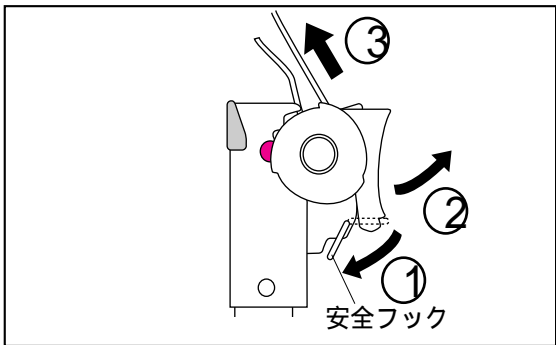


⚠ 注意

ボートの積み降ろし作業は、平らな広い場所で行ってください。

📖 参考

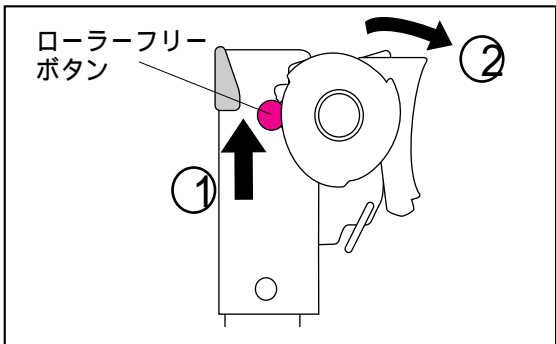
車両の後方には、ボート 艇分のスペースがあることを確認してから作業を開始してください。



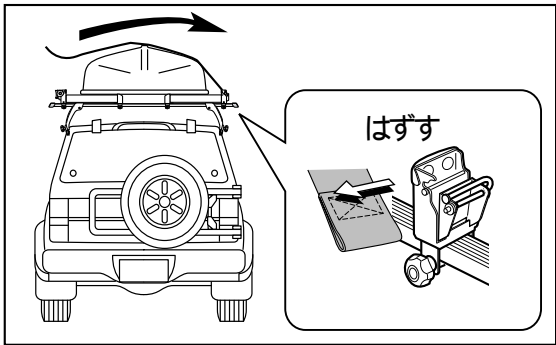
- ① 前後ラチェット部の安全フックを外し、② レバーを上へ上げて、③ ベルトをゆるめて引き出す。

⚠ 注意

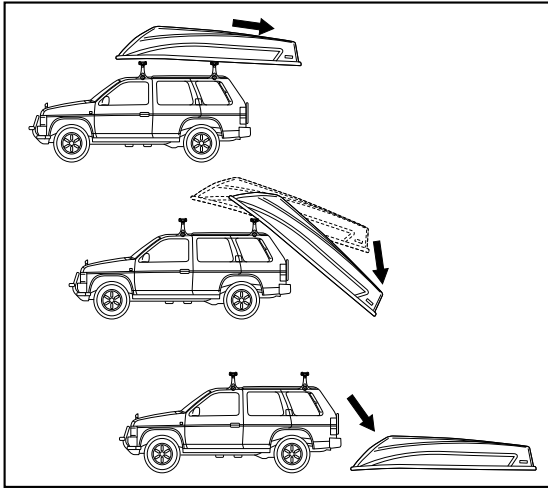
レバーを上げる際、指をあまり奥まで入れないでください。安全フックの端で指を傷つけるおそれがあります。



- ① ラチェット部とフック部全てのローラーフリーボタン(赤色)を上へ押し上げて、② ラチェット部とフック部を手前に倒す。



- 3 引き出したベルトを車の反対側へ投げる。
- 4 フックからベルトを外し、直射日光を避けて保管する。



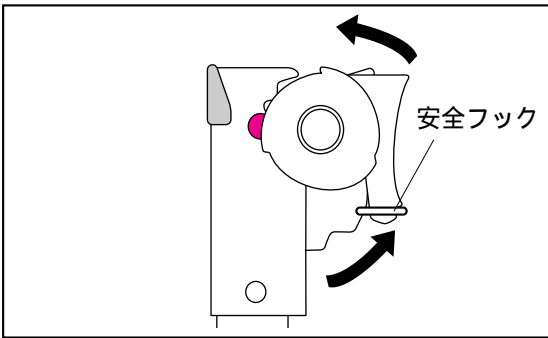
**5** ボートの先端が前側のバーに近づく位置まで後方へ引く。

**6** ボートの先端をやや上向きにしたまま、後方へ引きだし地面に後方を降ろす。

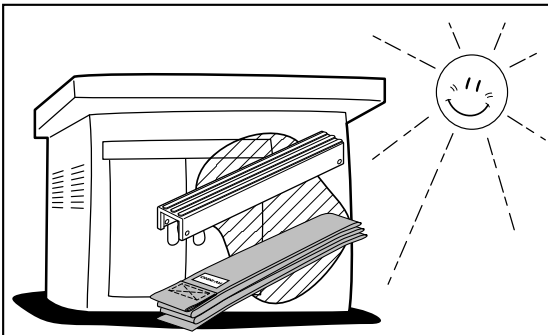
**7** 車両からボートを完全に降ろす。

使用  
**6**

積載しないときの使用方法



**1** 全てのラチェット部、フック部をカチッと固定されるまで起こし、ラチェット部の安全フックをロックする。



**2** 積載しないときはベルトとクッションを外し、直射日光を避けて保管する。

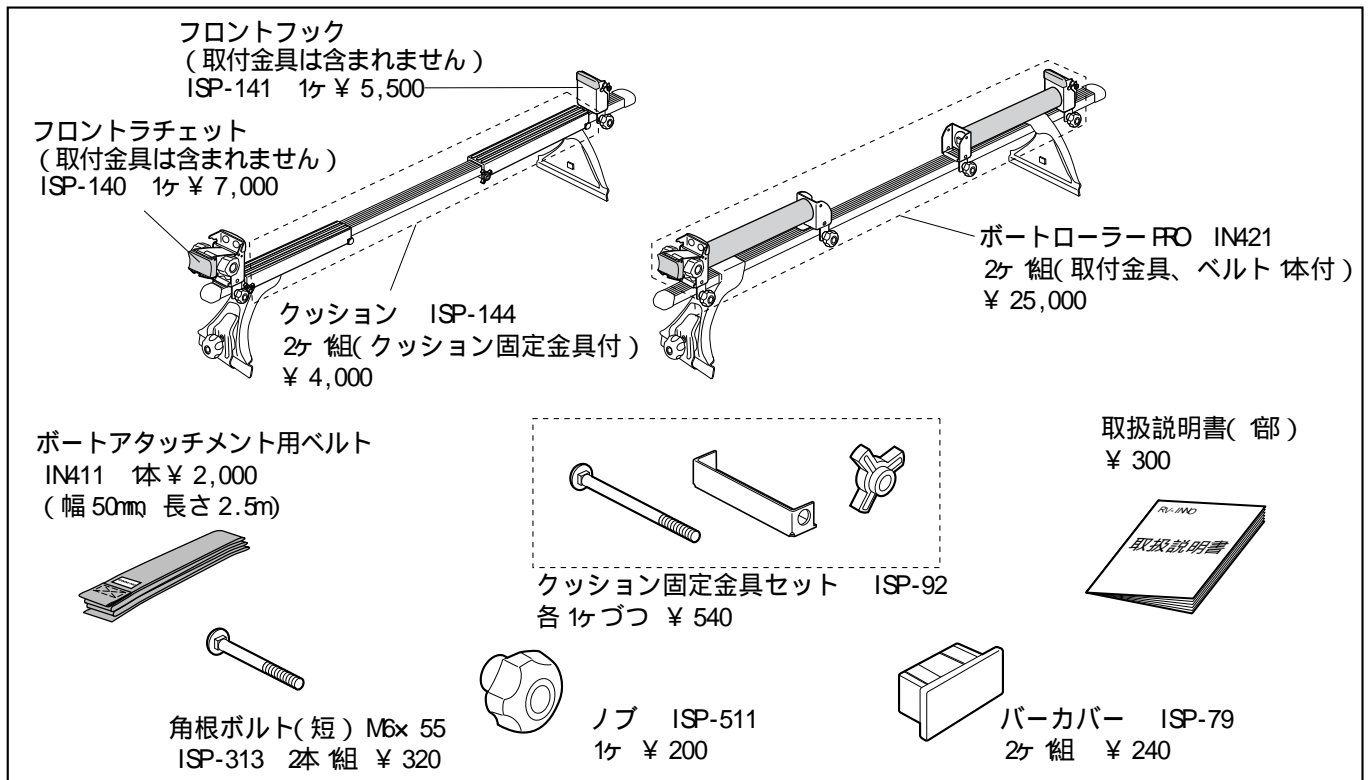
# 純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際は、キャリアを購入された販売店にパーツ またはパーツ名を指定してご注文ください。

## 参考

本書に記載する価格には消費税は含まれておりません。

本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。



株式会社 **カーメイト**